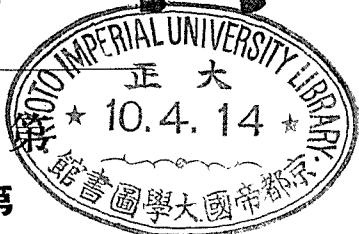


# 哲學研究

第六卷第四册  
第十六號



大正十年四月一日發行

大正五年四月六日第三種郵便物認可  
大正十年三月二十七日印刷納本(每月一圓一日發行)

感情の内容と意志の内容……………文學博士 西田幾多郎

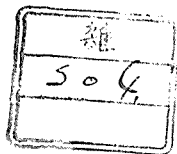
合理性對非合理性の問題を通じて見たる『極限概念の

哲學』(承前)……………法學博士 左右田 喜一郎

歴史的因果律の問題……………文學士 三 木 清

新著紹介……………

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內  
京 都 哲 學 會



## 京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究會ヲ開ク
  - 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
  - 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
  - 一、書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得  
學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會ス  
ルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納  
スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌『哲  
學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

## 京都哲學會役員

### 委員

### 書記

文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士	文學博士			
波多野精一	西田幾多郎	朝永三十郎	千葉胤成	狩野直喜	米田庄太郎	高瀬武次郎	田邊元	務臺理作	植田壽藏	野上俊夫	松本文三郎	深田康算	藤井健治郎	小西重直	澤村專太郎	寶殿方夫

# 會 告

來る五月一日(日曜日)午後正一時半より本會春期公開講演會を左の如く  
開催致候間御來聽被下度此段御案内申上候 敬具

## 一、會 場

京都帝國大學法學部第一教室

## 一、演 題

繪畫の對象

文學士 植 田 壽 藏 君

倫理に就いて

文學博士 西 晋 一 郎 君

大正十年四月一日

京 都 哲 學 會

## 新著紹介

## 文化科學と自然科学

リツカート著  
近藤哲雄譯

大村書店發行

歴史哲學の現状に就て語りうとする者は誰でも先づリツケルトを知らねばならない。彼の思想を窺ふに最も纏つた材料は、クノイ・フイツシアアの紀念論文集、「二十世紀初頭の哲學」(Die Philosophie im Beginn des 20. Jahrhunderts)の中に收められた「歴史哲學」(Geschichtsphilosophie)である。彼はこの論文に於て歴史哲學の課題を根本的に展開して、それを歴史科學の論理、歴史的生活の原理及普遍史としての歴史哲學と云ふ三つの部分に分つた。これらの中彼がこれまでその研究を發表したのは主として、彼自ら歴史哲學の基礎であり出發點であるを考へてなる史學の認識批判に關する部分である。彼はその主著を「自然科学的概念構成の限界」(Die Grenzen der naturwissenschaftlichen Begriffsbildung)と呼んだ。カントに依つて世界觀としては打勝たれた自然主義を方法論の方面に於て打破り、歴史科學の獨立性の根拠を究め、その概念構成の論理的構造を明らかにせんとするの謂である。今近藤氏の譯された「文化科學と自然科学」(Kulturwissenschaft und Naturwissenschaft)はこの書への入門書であるを著者が云つてゐる。それは自己の活動の本質を理解したいとの要求を感じてゐながら、廣汎な論理的著述を讀むの興味と時間とを缺いてゐる特殊科學の専門家に役立つやうに書かれた。私は一般の讀者に手

頃なこの書物が必ずその最初の目的を達するであらうと信ずる。そしてそれは學問分類の問題が極めて紛糾したものであり、一見甚だ單純に見ゆる普通の圖式もそれほど確實なものではないことを明瞭にし、この範圍に於ける徹底的な研究を喚び起すであらう。實際今日史學認識論くらゐ有爲な學者の美しい協力を必要とするものは少いのである。

譯語は多少無理な譯し方であると感じられる箇所が散在してゐるやうに覺ゆる。私は譯者が改版の序にもう一度校訂され、そしてその豊かな才能を惠まれることを希まなかつたならば、貧しい我國の學界にとつて非常に幸福なことであると思ふ。

## 内容

一、問題。二、歴史的狀態。三、根本對立。四、自然と文化。五、概念と現實在。六、自然科学的方法。七、自然と歴史。八、歴史と心理學、九、歴史と藝術。一〇、歴史的文化科學。一一、中間領域。一二、分量的別性。一三、没價值的個別性。一四、文化歴史の客觀性。

東京淺草區花川戸六五、大村書店發行。定價壹圓四拾錢。(三水清)

## 寄贈書籍雜誌

## 批評的倫理學

渡邊龍聖著

東京 開發社

## ラスク著法律哲學

法學士恒藤泰次譯

東京 大村書店

ルウテ氏各科教授法下卷

北澤種一  
富士德治郎  
堀七藏  
古川竹二  
共  
譯

東京 寶文館

心理研究、東洋哲學、創造者、學校教育、教育、内外教育評論、  
教育學術界、教育研究、教育時論、東京教育、靜岡教育、岐阜教  
育、三重教育、愛知教育、都市教育、信濃教育、佐賀教育、長崎  
縣教育、宮城教育、愛媛教育、鹿児島教育、教育問題研究、日華  
公論、哲學雜誌、丁酉倫理講演集

# 前 號 目 次

カントの永遠的平和論の半面……………文學博士 朝永三十郎

兒童期に於ける精神發達の停滯現象に就いて……………文學士 檜崎淺太郎

パウル・ナトルブ「ベスタロツテの理想主義」を讀む(完結)……………文學士 長 田 新

合理性對非合理性の問題を通じて觀たる『極限概念の哲學』……………法學博士 左右田 喜一郎

彙 報……………

新著紹介……………

會

告

一、本會へ入會希望ノ方ハ直接本會宛テニ御申込被下度候  
 一、會員ニシテ轉居セラレタル節ハ直チニ其旨御報知被下度候  
 一、會費ハ振替口座大阪參〇六六叁番、京都哲學會宛テニ御拂込被下度候  
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・交換雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學  
 文學部内 京都哲學會  
 振替口座大阪參〇六六叁番

價定

冊	數	定	價	郵	稅
一冊	冊	金	四拾錢	金	壹錢
六冊	冊	金	貳圓貳拾錢	不	申
十二冊	冊	金	四圓四拾錢	不	申

廣告料

一頁 金貳拾圓 半頁ハ取扱不申

定規文註

- 會員にあらざる講讀者の御註文及び廣告に關する件は内  
 外出版株式會社へ御申込下され度候
- 本誌の御註文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下さる  
 べく候
- 振替貯金にて御送金ば(振替大阪三二九五番)内外出版  
 株式會社宛に願上候
- 前金切れの場合に帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに  
 付直に御拂込下され度候
- 見本御入用の場合は金四拾錢御送り下され度候
- 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下  
 され度候

大正十年三月二十七日印刷納本  
 大正十年四月一日發行  
 第六十一號 第六卷  
 第四册

不許複製  
 禁轉載

編輯者 京都帝國大學文學部内  
 京都哲學會

右代表者 寶嚴方夫

發行者 大谷仁兵衛

印刷者 須磨勘兵衛

印刷所 内外出版株式會社印刷部

發行所

京都市下京區  
 北小路新町西

内外出版株式會社  
 振替口座大阪三二九五番

發賣元

京都市下京區北小路通新町西  
 京都市京橋區加賀町  
 十番地内外出版株式會社  
 振替口座大阪三二九五番

賣捌所

(東京) 東京堂、東海堂、北隆館、  
 上田屋、(大阪) 盛文館、三文社  
 (神戸) 寶文館、川瀬書店  
 (京都) 共盛社

京都帝國大學  
助教授法學士  
本庄榮治郎先生著

# 經濟史考

三百五十餘頁  
定價金參圓也  
上製五拾錢増  
送料金拾八錢

本書は經濟史に關する著者の近業を集録せるものなり。或は斯學の理論に關する雄篇あり、或は精細なる考證あり、又或は輕妙なる小品あり。江湖の一讀を薦む。内容左の如し。

- 第一篇、經濟發達階段説
  - 第二篇、自然と經濟
  - 第三篇、明治の人口
  - 第四篇、明治の米價調節
  - 第五篇、貯穀と常平倉
  - 第六篇、徳川時代の諸研究
- 一、徳川時代の經濟學説

- 二、徳川時代の封建制度
- 三、徳川時代農本の意義
- 四、土農工商の辯
- 五、寶曆以後の豫算
- 六、徳川時代の織物稅
- 七、幕末の物價騰貴

發行所 京都市新市町七條上 (參貳九五五版) 內外出版株式會社

發賣所 東京 阪大 善丸 有盛 閣文館 斐文館 東福社 東社 東神戶 東海堂 東瀨屋 東瀨川 東瀨川書館